



聴景デザイン FOR OFFICE

会社名 株式会社神山聴景事務所

代表者 神山健太

事業内容 音響調査・音響設計・聴景音（BGM）の制作  
音響設計アドバイス

## 聴景デザイン FOR OFFICEとは

オフィス向け音響デザインを主事業にしている（株）神山聴景事務所代表の神山健太と申します。

聴こえる景色を作る「聴景デザイン」は、「なぜ内装はこだわるのに音はぞんざいに扱われているのだろうか」という疑問から始まり、ユーザーの視点に立って考えられた音環境作りが本当の意味で心地よい空間を生み出すという考えを基本としています。

弊社は「聴景デザイン」を、オフィスから大型商業施設まで多種多様な空間にこのデザインを導入してきました。

そして、このユーザー視点が一番必要になってくるのがオフィス環境です。オフィスでは長時間集中して作業できるようさまざまな工夫がされていますが、従業員の生産性に大きく影響を及ぼすのが音の問題です。

音ほど繊細なものはありません。選曲・音質・音楽と音響機器と環境のバランスが欠けるだけで心地よさが失われてしまうくらい音は空間に大きな影響を与えます。

当社ではユーザそして企業全体の利益につながるウェルビーングな環境を音のデザインでトータルコーディネートします。

聴景デザイン FOR OFFICE 導入企業



# オフィスの音課題

## 騒音問題でこんなことはありませんか？

使用しているBGM  
or  
マスキング音がうるさい



BGM・マスキングと空間の相性や音質の調整ミスの可能性があります。

吸音パネルやサウンドマスキングで対策したのに部屋の音が反響するor音漏れする



設計段階での音響調査や対策ミスの可能性があります。

物音やWEB会議音がうるさい



レイアウトと音響設計の連携ミスやマスキングがうまくできていない可能性があります。

# 騒音問題を放置すると。。。

睡眠障害



イライラ



精神疾患

生産性の低下に加え、売上減につながる恐れも。

British Journal of Psychology は、労働者に 2 つのタスクを実行するよう依頼した研究を発表しました。

最初はノイズなしでテストし、次に一般的なノイズを録音してテストしました。

ノイズを伴うテストでは、作業の精度がほぼ 67% 低下することが示されました。

ちょっとした騒音でも精神的に不安定になってしまうのが「音」の怖いところなのです。

それは裏を返せば「音」の変化1つで心地よくもなるということを意味しています。

## 音響面の課題

### 設計段階でこんなことを思ったことはありませんか？

オフィス音響に特化した業者が  
なかなか見つからない



多くは大型施設・公共事業に伴う音響業者になりオフィス音響専門が見つげにくい状況です。

BGMやサウンドマスキングの運用に困っている



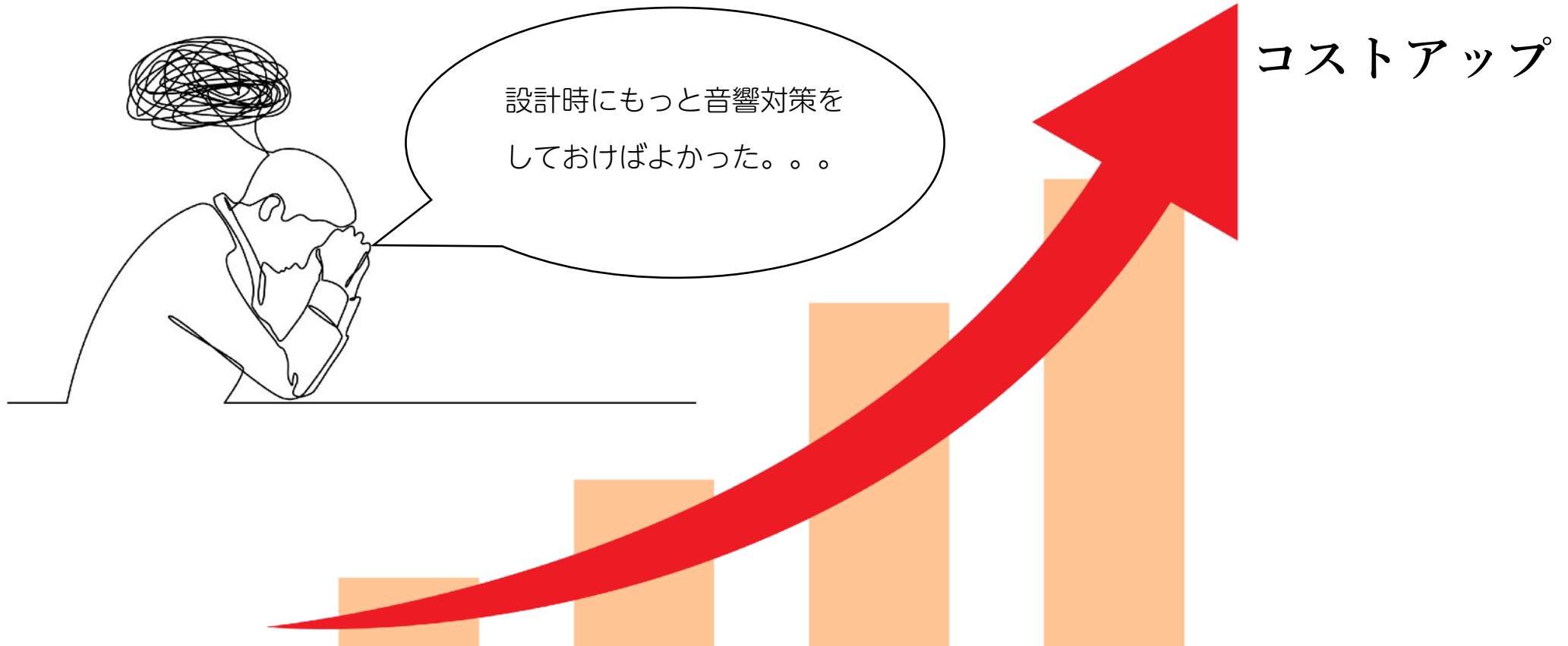
メンテナンスサービスはありますが、音質調整などの音響最適化作業まで行う業者はあまり存在していません。

急な音問題の対処に困っている



吸音パネルは後から取り付けることができますが、音問題を予測してなるべく設計段階で対策しておいた方が良いでしょう。

## 音響設計を後回しにすると。。。。



問題が発生する前に解決できた可能性がある問題を修正するためにかかるコストは、  
計画段階よりもはるかに高くなります。

プロジェクトの設計段階で音響を考慮しないと、コストのかかる結果が生じる可能性があります。



# 施工で終わってしまう音環境設計

音響の業務範囲は施工までが多く、その後の環境作りは事業者が行うのが一般的です。

独自で心地よい環境を作っていくことは困難ではないでしょうか。



設計



施工



終了

大事なものは稼働後の環境

# サービス 聴景デザイン FOR OFFICE

音響を「設置」だけで終わらせないユーザーのための音環境設計をトータルコーディネート



音響調査




音響対策の提案



音響機器の配置設計



聴景音の企画・制作



アフターフォロー

# 各サービスの詳細 1

## 音響調査

暗騒音レベル・残響時間などの計測。

部屋面積・建材・インテリアの情報をいただき数値を算出します。

## 音響対策の提案

調査資料を提出した後、具体的な音響対策をクライアント様と議論しながら提案していきます。

一番はユーザーにどのような環境で働いてもらいたいのか、です。

## 音響機器の配置設計

BGMスピーカーやサウンドマスキングをご検討される際に最適な音響機器と設置箇所をご提案します。



## 各サービスの詳細 2

聴景音の企画・制作

聴景音導入のための空間用途・音環境のご要望をヒアリングします。

上記をもとに音演出の企画や聴景音の制作をおこないます。

アフターフォロー

音響対策が機能しているかの調査をおこないます。  
暗騒音レベル・残響時間・聴景サウンドマスキングなど

ユーザーへのアンケートやリピート率向上につなげるための对外発信やコンサルティングをおこないます。

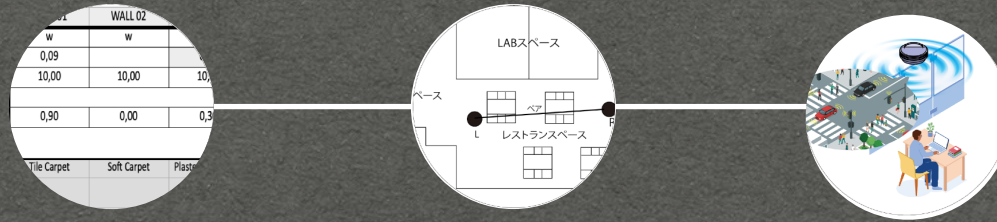
# 音響対策（聴景デザイン）するとどう変わる？



良い音環境は仕事と健康を両立させ、充実度・幸福度とともに  
売上にも良い影響を及ぼすことが期待されます。

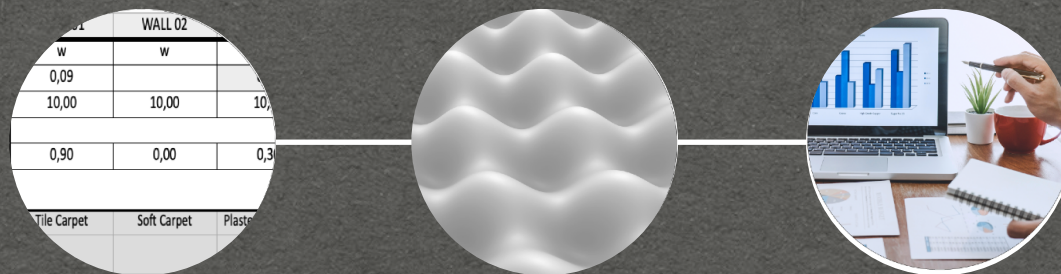
## 事例 オフィス

### オフィスA



ワークスペース・フロンブースのサウンドマスキングとラウンジスペースの音楽演出を依頼されました。

### オフィスB

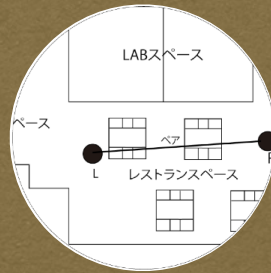


クライアント側から厳格な音響の数値が設けられていたため、音響調査と音響対策、稼働後の音響調査を依頼されました。



# 事例 シェアオフィス

JRシェアオフィス



従来BGMに起因するクレーム対処のための騒音対策を依頼されました。

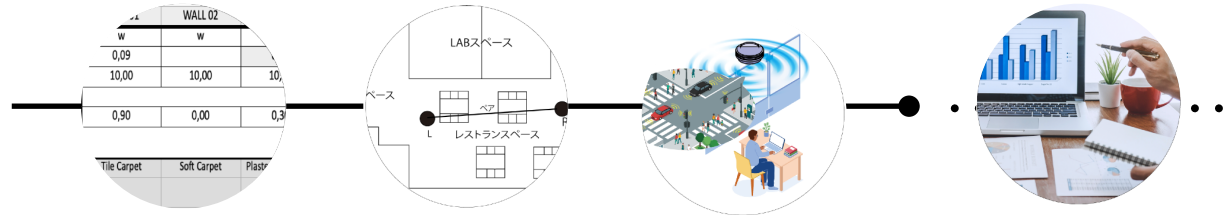
# プラン

オフィスの用途に合わせてお選びいただけます。

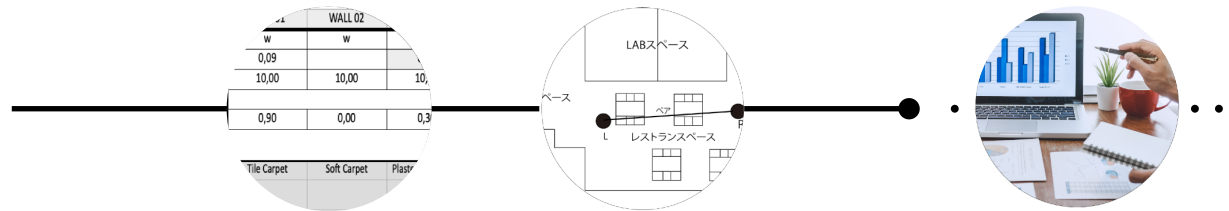
詳しくはお問い合わせください。

※アフターフォローは選択可能で効果測定や運用後の相談を受けたい方にオススメしております。

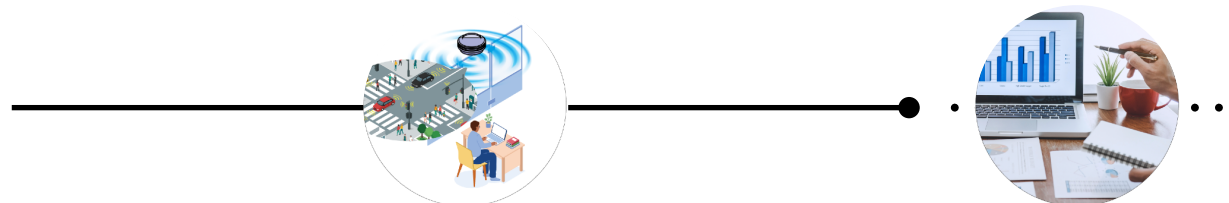
総合的にオフィス音響の対策を検討されている方



音響調査サウンドマスキングを除く音響対策を検討されている方



ミーティング・ワークスペースやラウンジなどでマスキングまたは音楽演出での音響対策を検討されている方





連絡先

株式会社神山聴景事務所

Mail : [info@kentakamiyama.com](mailto:info@kentakamiyama.com)

Tell : 090-8794-1428